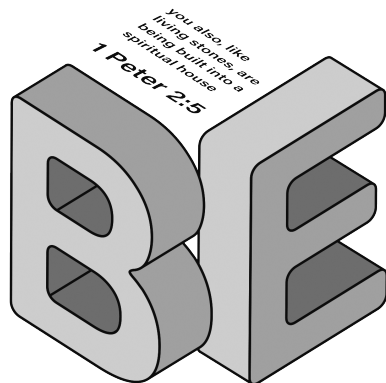


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/10/6(月)

エレミヤ 11章

●呪われる者と祝福される者は、それぞれどんな人だろう。(3-4)

●呪われる者と祝福される者の辿る末路はどのようなものだろうか。(申命記30:15-18)

★ケンブリッジ大学のBarbara教授によると、人は、1日に35,000回もの選択をしているらしい。何を着、食べるか、何時の電車に乗るか、友人にどんな言葉をかけるか、夜何のTV (YouTube) を観るか… 私達は無意識に沢山のことを決めているんだね。
→今晚、自分がした選択がいのちの選択だったか振り返ってみよう！もしそうでなければ、神様に告白しよう。

2025/10/7(火)

エレミヤ 12章

●エレミヤの目には、周りの人々が悪を行いながら栄えていて、正しい人が苦しんでいるように見えた。

君の目にはこの世界、周りの人たちのことがどう見えているだろうか。神様になぜと問いたいことはあるだろうか。

●全てを知っておられる神様は正しい判決を下される。14-17節に書かれていることを読んで、神様の心について思い巡らそう。

●「主は生きておられる」という告白を自分のものとしよう。神様との生きた関係を歩もう！！

2025/10/8(水)

エレミヤ 13章

●お気に入りの服はある？それをどんな時に着るかな？それを着ると君はどんな気持ちになる？

●エレミヤに不思議な命令がなされた。川のほとりに隠した帯は結局どうなっただろう？

●神様にとってイスラエルはご自分の帯として身に付けたいと思うような存在だった。神様の栄誉となることってすごいことだね。イスラエルに対する神様の心を考えてみよう。そして、自分の上には、神様のどんな眼差しがあるだろうか。イエス様が示された神様の愛を思い出そう。自分が神の目に尊い存在であることを受け取ろう！

2025/10/9(木)

エレミヤ 14章

●この箇所は何についてのエレミヤの預言かな？1節

●エレミヤは最後『あなたを...』なんて言っているかな？22節

●この箇所はエレミヤがイスラエルのために頑張って祈ってる箇所だよ。日照りの預言を受けたエレミヤが、金の子牛のとりなしをしたモーセのように祈っているんだ。エレミヤは最後神様を待ち望むと祈っているよね。この頃イスラエルは神様に背いていたけど、本来神様の子どもでいるなら神様は守ってくださるよ。生活の中で心配なことや、こわいことはないかい？あったら神様に祈ろう！なかったら神様に守られていることを感謝しよう！

2025/10/10(金)

エレミヤ 15章

落胆するエレミヤと神様との会話が書かれているよ。19-21vを読もう。

●神様がエレミヤに語った前向き（ポジティブ）な約束は何だったかな？

●逆に19vで気をつけるべき教訓も与えているね。ことばに関する教訓と行動についての教訓。それぞれどんな内容かな？

●僕らは神様からは、励ましの約束と教訓の両面が与えられることを意識した方が良さ。励ましだけ受け取ると高慢になるし、教訓だけだと自己卑下になるからね。きみは今日、どんなことを神様から受け取る？自分から取りに行こう。

2025/10/11(土)

エレミヤ 16章

神様はこれからおこるあまりにも悲惨なことゆえに、エレミヤにその場所で結婚することも禁止した。自分の罪に人々が気づくことができるように、神様は大きな災いをもたらそうとされるね。だけど長い歴史の中で何度もイスラエルの人々は同じ過ちを繰り返してしまうんだ。私たちに人にとって自分の罪を認めて、神様に悔い改めることはすごく難しいね。

神様はいつも正しい方だから、罪に対しての裁きも必ず行う。だけど、全てを滅ぼさず、最後まで人々が立ちかえることができるように待っていてくださるし、神様を知るチャンスを用意してくださっているよ。

・君にとって認めるのが、難しい罪や弱さはあるかな？

・大きな歴史の中ですべてを治め、導いてくださっている神様を覚えよう！

2025/10/12(日)

エレミヤ 17章

この箇所では、「人間に信頼する者」と「主に信頼する者」が対比で書かれています。

人間に信頼する者とは、心が主から離れている者と神様は言います。反対に、主に信頼する者とは、主を頼みとしている人で、その人たちには祝福があるように、と語られています。私たちが頼りにしているのは何でしょうか。

続けて、「人の心は何よりもねじ曲がっている。それは癒しがたい。」とも書かれています。私たちは主を頼みとしようとしても、そうなれない時、心が離れてしまいそうになる時もあると思います。それは簡単なことではありません。

このどちらのことも知り、その上で主を頼みと出来るようにと、神様に心に向けてお祈りしてみよう。